とだ議会だより

やさしいまちに、なりたい。

12月定例会

No158号
2009年（平成21年）1月31日

▲ 喜びがいっぱい…平成生まれの新成人も誕生。1,259人の新しい門出を心から祝します。

公共施設 将来の改修へ10億円貯金……2
議案に対する討論……4
そこがききたい（一般質問）……5
委員長報告から……13
議会日誌、次回の予定……14

戸田市
発行・戸田市議会
編集・議会だより編集委員会
〒335-8588 戸田市上戸田1丁目18番1号
URL・http://www.city.toda.saitama.jp/
TEL・048-441-1800（代）
FAX・048-433-2212

平成20年
12月
定例会
11月25日～
12月12日

▲ 審議風景

公共施設 将来の改修へ 10億円貯金
総額16億円の一般会計補正予算を可決

議員任期4年間の締めくくりとなる12月定例会は、11月25日に開会し、市長提出議案32件、請願10件を慎重に審議のうえ、すべてを議決して、12月12日に閉会しました。

一般質問は、15人の議員が登壇し、市政の重要課題を取り上げ、3日間にわたり白熱した論戦を展開しました。

本定例会に、市長から提案された議案等は、損害賠償などの報告4件、一般案件として、笹目コミュニティセンターほか6施設の指定管理者の指定と市道路線の認定、条例では、公益法人制度改革による法律改正に伴う条例改正と、戸田南小学校学童保育室を2分割する改正や、福祉作業所を障害者施設条例に位置づける改正など、6件の条例改正、さらには一般会計及び特別会計補正予算14件など、合計32件が提案されました。

そのうち、報告案件と先議案件以外は、本会議での説明、質疑の後、付託された各委員会で細部にわたって慎重に審査を行いました。

その結果、障害者施設条例の一部改正と一般会計補正予算は多数決で可決し、その他の議案はすべて全会一致で可決しました。→討論概要4p参照

主な議案の概要

【条例等】

◎指定管理者の指定について…本年4月以降の管理運営を委任するものです。→下表参照

◎認可地縁団体印鑑条例の一部改正

◎墓地、埋葬等に関する法律施行条例の一部改正

◎土地開発公社の定款の変更…右3件は、公益法人制度改革（法人設立等の主務官庁制・許可主義を廃止し、設立と公益性の判断を分離するもの）により地方自治法等が改正されたことに伴うものです。

◎障害者施設条例の一部改正…心身障害者ディケア施設条例を廃止し、本条例に、福祉作業所もくせい園（生活介護）、ゆうゆう（就労継続支援）、かがやき（就労移行支援）を位置づけるものです。

【一般会計補正予算】

◎歳入歳出それぞれ16億4025万7000円を追加するもので、主なものは次のとおりです。

①公共施設の経年劣化に伴う改修・更新経費の財源確保のため、10億円の基金積み立て。

②健康福祉の杜第2期整備事業の実施に向けた基金積み立て。

③原油価格高騰等の影響による、小中学校や防犯灯などの光熱水費、燃料費の増額。

④税制改正に伴う公的年金受給者から個人住民税の特別徴収を行うためのシステム改修等の経費。

⑤戸田南小学校学童保育室を2分割するための修繕料。

【専決処分の報告】

①新曽第二土地区画整理事業の区画整理審議会委員欠員に係る選挙費の補正。

②車両損傷事故に係る損害賠償の報告。

【請願】

前定例会から継続の請願3件は、いずれも継続審査となりました。

本定例会に新しく提出された請願は、「建設不況打開と資材高騰への緊急対策を求める請願」7件です。そのうち、2件は趣旨採択、2件は多数決で不採択、3件は継続審査となりました。要旨で掲載しました。

◎趣旨採択2件

・公共事業をふやし予定されている工事の前倒しを。

・単品スライド制を全業種に広げ、下請け業者までまわるように実施を。

◎不採択2件

・中小建設業者の不況打開に向けた緊急対策を。

・年末に向けて緊急小口融資制度の実施を。

◎継続審査

・住宅リフォームや耐震改修工事助成制度の創設・拡充を。

・公営住宅などの改修・修繕工事を小規模工事登録業者に発注を。

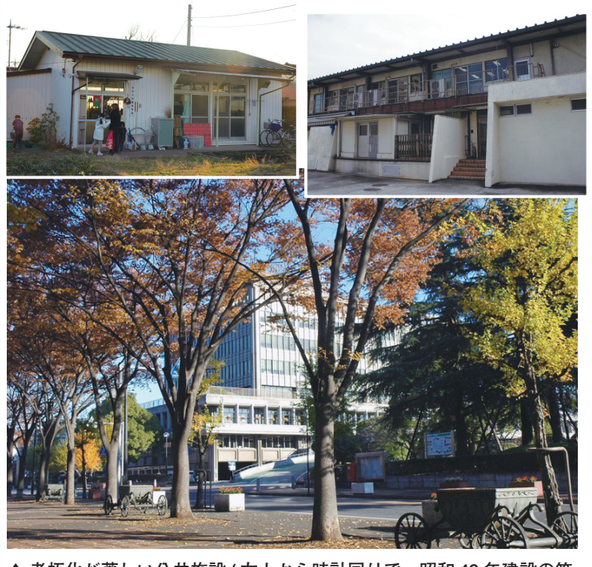
・公共工事で設計労務単価をもとに労働者に適正な賃金支払いの指導を。

7施設の指定管理者決まる

指定管理者の指定について

施設名	期間	指定管理者
笹目コミュニティセンター	5年	笹目コミュニティ協議会
心身障害者福祉センター	2年	（社）戸田市社会福祉協議会
福祉作業所もくせい園	2年	（社）戸田市社会福祉協議会
勤労青少年ホーム	2年	（社）戸田市社会福祉協議会
健康福祉の杜内の5施設	5年	（社）戸田市社会福祉事業団
都市公園（彩湖・道満グリーンパーク）	3年	（財）戸田市公園緑地公社
福祉作業所かがやき	2年	（社）戸田わかくさ会

注 （社）は社会福祉法人、（財）は財団法人をあらわす



▲ 老朽化が著しい公共施設（左上から時計回りで、昭和49年建設の笹目小学童保育室、昭和45年建設の学校給食センターと市役所）

勇退議員の横顔
長い間おつかれさまでした

これからも住み続けられるまちづくりを

奥田 実 氏
（公 明 党）

現議長の奥田議員が今議会を最後に勇退することを表明し、最終日の本会議場で退任のあいさつを行いました。

その中では、本市を大きく揺るがした新幹線・埼京線通過問題、国保十割給付廃止時の苦渋の決断、バブルの全盛と崩壊、阪神・淡路大震災による被災地の救援活動、全国市町村レガッタ大会議員の部で3度の優勝など、自身の数々の体験談を織り交ぜつつ、これからも住み続けられるまちづくりを願い壇上を後にしました。

ここに市政及び議会の発展に多くの功績を残された同氏の略歴を紹介いたします。

【略 歴】

昭和60年に初当選し、連続6期24年間にわたり市政に貢献。

その間、議長2回のほか、副議長、厚生・建設・文教経済の各常任委員長、議会運営委員長、交通環境対策及び指定管理者制度の特別委員長、蕨戸田衛生センター組合及び戸田競艇組合議会の議長などを歴任。

討論

今定例会では、議案2件に対して3議員が討論※を行いました。
その概要は次のとおりです。

◎障害者施設条例の一部改正

反対　日本共産党　岡嵜　郁子　議員

利用者の負担軽減策が示されていない

改正により、利用者負担が原則1割の定率負担となり、本人及び配偶者の所得に応じて段階があるものの、高い人は月8500円にも上るとのことです。利用者負担は現状のデイケア施設から増えることのないように市の対策を講じるべきです。

法定施設となり、市は2千万円以上も持ち出しが減ります。一方、運営費は月額方式から日払い方式に改められ、通所者の利用状況等に応じて運営費が減額される仕組みとなり、施設運営が困難になる事態が生じると多くの施設で問題になりました。

市の説明では、利用者の負担軽減及び施設への支援方針が示されておらず、このまま賛同することはできません。

◎平成20年度一般会計補正予算（第4号）

反対　日本共産党　望月　久晴　議員

基金積み立てよりも市民要求実現に

補正財源19億円のうち18億円が基金積み立てで、公共施設等整備基金には10億円を積み立てています。同事業費の一般財源分をオーバーしており、財政調整基金は31億円もある中で、これほど公共施設等整備基金に積む必要性はないのではないでしょうか。

生活が危機的状況にある市民には、市税・国保税の減免対策を直ちに行うべきです。また、中小企業へのさらなる緊急不況対策や市民要求にはほとんど計上されていません。

来年10月から65歳以上の高齢者の住民税を年金から天引きするための税基幹システム改修業務委託料については、税の自主申告・納税の原則を崩すものであり、圧倒的多数の高齢者が強く反対しており、認めることはできません。

賛成　公明党　三浦　芳一　議員

基金による計画的な施設改修は適正

本市の公共施設等は、昭和40年代から50年代にかけて建設されたものが多く、経年による老朽化が著しく進んでいます。

公共施設等は常に安全な状況で使用できるよう、計画的・効率的に整備を進めていく必要がありますが、単年度での財源確保は、他の行政サービスの低下を招く恐れがあります。

災害発生時に災害対策本部となる市庁舎の耐震化事業も平成23年度に予定され、さらに、上戸田ふれあい広場やこどもの国等の計画、小中学校維持保全改修計画など、多額な財源が想定されるところです。

来年度以降、税収の厳しさが想定される現在、財源確保ができるときに蓄えるのは当然であり、基金積み立ては適正と考えます。

税基幹システム改修業務委託については、公的年金受給者にとって納税の便宜が図られ、市町村は徴税の効率化が図られることにもなります。本市単独で天引き制度を行うことではなく、妥当と考えます。

請願・陳情

皆さんの意見を市政・議会に反映する手段の一つです！

議会開会日の3日前までに提出された請願は、その定例会で所管委員会に付託し、審査されます。

次回3月定例会への提出期限は2月20日（金）です。

提出に当たっては、請願の件名・要旨・理由のほか、紹介議員の署名、提出者の住所・氏名を記載し、押印の上、議会事務局に提出してください。

陳情は、紹介議員の必要はありませんが、議場配布のみの取り扱いとなりますので、ご承知おきください。

傍聴席へどうぞ

本会議 … 行政と議会の生の声を！

傍聴は、生で市政の動きを知る絶好のチャンスです。ぜひ一度、議場に足を運んでみてください。

議場には、傍聴席53席（車いす席2席）が設けられています。市役所8階の傍聴席入口で受付簿に住所・氏名などを記入のうえ入場してください。

委員会 … 白熱した議論を間近で！

4常任委員会と2特別委員会（交通環境対策、指定管理者制度）を公開しています。傍聴席数は、各委員会とも一般用5席です。

※ 討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べること。

▲富士山の初冠雪は8月9日――最も早い記録を94年ぶりに更新した2008年でした。（撮影12月1日）

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では12月2日から3日間、15人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。

ここに掲げたのは、その質問・答弁の大要です。

そこがききたい

乳がん検診は全員が受診できないか

「全員が受診できるようにしたい」

山崎　雅俊　議員

議員　ピンクリボンウォーク※に対する市の考え方と今後の取り組みは。

医療保健センター事務長　ピンクリボンウォークは、乳がんの早期発見のための検診を啓発するために、市長を会長とした実行委員会が主催して昨年から実施している。乳がん検診の必要性を理解していただき、受診につながるよう支援していくことが行政の役割だと考えている。

今後も、こうした運動を継続していくとともに、乳がんの早期発見に対する意識が高まっていくよう、さまざまな活動に取り組んでいきたい。

▲乳がん検診を啓発するピンクリボンウォーク

議員　乳がん検診は、申込者全員が受診できるようにすべきではないか。

医療保健センター事務長　乳がん検診は、本年度、18歳以上の市民を対象に、昨年の申し込み人数相当の2500人の定員を予算化したが、6月の申し込み期間には定員を大きく上回る3223人の申し込みがあり、事前にお知らせしたように、抽選で2500人を決定した。

しかしながら、市が先頭に立って、ピンクリボンウォークなどで啓発活動をしていることもあり、申し込まれた市民全員に受診していただけるよう、追加設定について調整をした結果、抽選に漏れた方全員に受診していただくことが可能となった。現在、手続きを進めているので、間もなくご案内をしていきたい。

来年度については、乳がん検診を希望された市民の方全員が受診できるよう予算化していきたい。

※ ピンクリボンウォーク……乳がんへの理解、早期発見・治療の重要性を認識いただき、一人でも多くの命を救うための運動の一つ。

一般質問

菅原　文仁 議員

病児・病後児保育の再開の見通しは

「誠に遺憾、事業実施に努力する」

議員　委託企業の倒産により、現在、病児・病後児保育が利用できなくなっている。今回の問題で重要なことは、まず、①危機に対する迅速な対応ができたか。②損害をいかに最小限に抑えるか。③停止したサービスをいかに早く回復させるか。④今後対策をどう打つか、である。市の見解は。

▲病児・病後児保育事業も廃止された北戸田駅前保育園ハッピースマイル（平成20年6月撮影）

こども青少年部長　市としては市内全23名の転園等を図り対応した。しかし乳幼児の心理的影響や保護者の急を要する事態となり、誠に遺憾である。

議員　機会損失状態にある病児・病後児保育サービスの現状を一刻も早く回復することが重要。優先して最大限に努力せよ。

こども青少年部長　契約時の委託業者の実績及び内容による基準の検討をし、病児・病後児保育事業の実施に向け最大限の努力をする。

情報通信技術を活用した広報の活性化を

議員　ふれあい戸田などの広報は市のPRとして大きな役割を担っている。これをYouTube（ユーチューブ）※などの動画共有サイトに掲載して市をアピールできないか。また、また緩やかな都市型コミュニティーの醸成を促すために自治体版SNS※を導入することはできないか。

政策秘書室長　動画共有サイトは著作権やアダルト情報を含むなど問題点も多く指摘される。本市の庁内LANからもアクセス制限をかけている。今後の動向を見きわめ研究する。また自治体版SNSは地域コミュニティーの活性化や市民参加の向上などに効果があると考えられるが課題もある。先進事例を参考にして研究する。

馬場栄一郎 議員

納品車両用駐車スペースの設置指導を

「規定に盛り込むか検討をする」

議員　来客のほかに、引っ越し車両、宅配などの納品業者車両、近年は介護タクシーなどの送迎車両の駐車も多くなってきている。敷地内に駐車スペースを確保することで、交通安全対策も図れる。マンション建設などの開発指導要綱を見直すべきではないか。

市民生活部長　駐車対策の観点から問題となる宅急便や引っ越し、訪問介護の車両は、業者と協議し、スペースが確保できる所には、車寄せの設置を求めている。規定に盛り込むか検討をする。

▲荷降ろしのスペースがあると安全ですね

自主防災会の可搬式ポンプは実際に役立つのか

議員　可搬式ポンプは、消防車両などが進入できない狭い所には、大変有効であるとのことで、自主防災会に配備させたと聞いているが、実際に火事が起きた場合、役に立つのか。

総務部長　戸田市総合防災訓練の初期消火訓練で、ホースの長さや防火水槽の位置を確認した上で、可搬式ポンプを使用した訓練を実施した。自主防災会から、エンジンがかかりにくい状態のものもあるし、ポンプを稼働するための人員が不足しているなどの指摘もある。可搬式ポンプの更新、運用体制などを含めて検討していく。

議員　防火水槽の位置を正確に把握している自主防災会は少ない。消火栓の位置も含めて、市民や自主防災会に、水利の位置を周知させる必要がある。消火栓や防火水槽を開けてホースやポンプにつなぐなどの実践的な訓練を町じゅうで行うことが必要である。

※動画共有サイト……インターネットのサーバー上にアップした動画を視聴できるサイト。無料で視聴でき、手軽に公開できることなどから、人気を集めている。
※ＳＮＳ……ソーシャル・ネットワーキング・サイトの略。人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティー型のＷｅｂサイトをいう。

そこがききたい

斎藤　直子 議員

新型インフルエンザへの対応は

「庁内一丸で対策を推進する」

議員　厚労省は、海外発生から日本到着まで2～4週間程度と予測。本市は「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定しているが、市民への情報提供が不足。また、医療現場の維持や企業のBCP※策定等、各々できることを明確に役割分担をし、連携が重要。今年度はどのような対応か。

医療保健センター事務長　健康フェスティバルでの講演や庁内で危機予防対策会議を開催。各部の問題点等を洗い出し、今後の対策について共通認識を図った。川口保健所や県とも連携をとりながら、職員の研修を積み、最新情報の収集をし、感染拡大防止のための市民啓発、医療体制の確保、社会機能維持のための協力体制等、危機管理体制を整備する必要から庁内一丸となった対策を推進する。

▲新型インフルエンザの実動訓練より（総務省消防庁提供）

市民は、日頃より手洗い、うがい、マスクを励行、清潔な生活を心掛け、日常生活で感染症から身を守る市民向け対応マニュアルを作成していく。

発生時多くの市民が押し掛ける医療機関は、蕨戸田市医師会で取り組みが始まり、医療機能の維持について検討。企業も市内企業の関係部署と協議し商工団体と連携を図りたい。住民異動、学校、福祉、水道、消防等の各日常生活にかかわる業務やライフラインの確保について発生時を想定してそれぞれ対策を検討する。

消防長　患者の救急搬送において、県に通報の上、関係機関との連携、救急隊員の感染防止対策をとる。

議員　複数の野鳥が死んでいた時、どうすべきか。

市民生活部長　素手で触れず、環境クリーン室に連絡を。県環境管理事務所、自然環境課に連絡し、原因究明となる。

本田　哲 議員

介護保険料の引き下げを決断すべき

「適切な手段を探っていきたい」

議員　日本共産党が行った市民アンケートで、介護保険料が高いと68％が回答。市の調査でも43％が介護保険料の額に納得していないと回答している。この市民の声にこたえ、介護保険料引き下げを決断すべきではないか。

福祉部長　介護保険料が上がり続けることは好ましくないと考える。法にかなった適切な手法を探っていきたい。

議員　県内一高い保険料の引き下げを強く要望する。

青少年の広場の安全対策は

議員　7月と11月の利用状況調査を踏まえて、今後の広場の安全対策をどのように考えているか。

こども青少年部長　調査結果がまとまって間もない。前回の結果とあわせ、実態をよく把握することが重要と考える。利用者の皆さんに安全で楽しく利用していただける青少年の広場とするため、総合的に検討していきたい。

議員　市の責任で一日も早く抜本的な改善を行うことを要望する。

tococo（トココ）バスの利用状況の調査は

議員　tococoバス利用状況調査とアンケートで運賃値上げの設問がある。運賃の値上げを考えているのか。

市民生活部長　現段階では、誰にでもわかりやすいワンコイン100円は維持していく。

議員　路線の充実が行われても、運賃百円の維持を強く要望する。

▶ワンコイン100円で利用できて便利です

※ＢＣＰ（事業継続計画）……企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめつつ、事業の継続、早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時の事業継続のための方法・手段などを取り決めておく計画。

一般質問

神谷　雄三　議員

通勤快速の深夜帯、戸田公園駅停車を

「実現に向け粘り強く要望」

議員　埼京線への市民の要望は、本数の増加、終電時間の繰り下げ、女性専用車運行の時間帯拡大などがある。このほか、深夜の通勤快速を戸田公園駅に停めるよう願っている通勤客が多くいる。

　ＪＲは乗客を川越まで早く届けることを優先させることから、戸田公園駅への停車を実施しないが、埼京線は戸田市民、旧浦和・与野市民の犠牲と協力で敷設されたものであり、ＪＲの言い分はどこか間違っている。

　埼京線の通勤快速停車駅以外では、戸田公園駅の乗車人員は一日平均で約2万9千人で、他の駅より頭一つ抜けている。夜間だけでも市内3駅利用者を赤羽から戸田公園駅まで乗せて、普通列車の混雑を緩和させ、通勤快速を戸田公園駅に停めるようＪＲに強力に要請するべきである。

市民生活部長　夜間の通勤快速を快速運行にするために、ＪＲに乗客の利用状況を再度調査して実現に向け検討されるよう粘り強く要望していく。

安全な本町交差点に

議員　本町交差点西南角のビルは都市計画事業による道路拡幅実行までを見越して壁面後退していない。このため主要交差点にもかかわらず、歩道幅は160㎝しかなく、自転車で信号待ちしていると他の人は通れなくなる。歩道すれすれに走るバイクに接触しそうにもなる危険さである。国に角地ビルの底地を買い上げてもらうか、市で先行取得すべきではないか。

都市整備部長　通行者の安全確保が必要であり、国に優先的整備を粘り強く要望していく。市としても先行取得が可能かどうか調査・研究していく。

▲一歩間違えると……安全な歩道づくりを

鈴木　麗子　議員

肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を

「有効性も高いと思われる」

議員　高齢者の肺炎は、重度化しやすく、死因の第4位である。また、肺炎球菌の抗生物質の耐性化も問題になっている。

　インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンの両方の接種は、肺炎による入院や死亡のリスクを軽減する効果があるほか、医療費の削減にもつながるとの報告もある。

　高齢者福祉と予防医学の観点から、公費助成を行い、ワクチン接種の推進をしてはどうか。

医療保健センター事務長　感染予防の観点からも有効性が高いと思われ、全国76市町村で公費助成が実施されている。今後は、国・県の動向を見ながら対応していく。

自転車の安全教育の推進を

議員　子どもの発達段階に応じた交通安全教育や危険予測教育の取り組みはどうか。

教育部長　小学校は、学校安全計画に基づき、学級・学年集会や校庭を使った実技体験等の安全教育を計画的・継続的に取り組んでいる。

　危険予測教育は、各学科や学級活動で発達段階に応じた指導をしている。

こども青少年部長　保育園・幼稚園では年間安全指導に基づき行っているが、危険予測教育は実施していない。

◀安全な自転車の乗り方も学んでいます（戸田第二小にて）

共同住宅の住戸外バリアフリー化は

議員　埼玉県の指標とするバリアフリー化率を今後どのように進めるのか。

都市整備部長　市内203ヵ所の調査を基礎資料として、入居実態や費用助成等、他市を参考に検討する。

三浦　芳一　議員

救急搬送での〝たらい回し〟防止策を

「医療機関の選定マニュアルで対応」

議員　救急車の出動状況（回数・搬送人員・傷病程度）と、救急救命士の出動体制の実態、※AEDの使用状況を伺う。

消防長　平成19年は出動回数5215件、搬送人員4701人で、死亡49人、重症386人、中等症1523人、軽症2741人、その他2人。救急救命士は現在26人で、救急車には必ず1名以上同乗している。19年中のAED使用は72人であった。

議員　救急搬送の病院収容までの平均時間と、〝たらい回し〟防止策は。

消防長　平均32分。過去3年間では全体の約80％が1回の問い合わせで医療機関へ収容されている。

　総務省消防庁は本年1月、厚生労働省に対し、救急医療体制の整備について救急医療情報システムの改善などの申し入れを行った。消防としては、迅速・的確な救急活動を行うため、医療機関の選定マニュアルを作成し、防止に努めていきたい。

▲円滑な救急搬送に向けて訓練が行われています

tococoバス東循環の2路線化を

議員　平成17年6月から東循環の2路線化を要望しているが、その調査・検討の結果を伺う。

市民生活部長　本年度末に路線素案を作り、21年度の中で路線案をとりまとめたい。

喜沢橋新設信号機下の歩道の段差解消を

議員　歩行者や、特に車いす・自転車利用者の早急な危険解消を図るように。

都市整備部長　早急にスロープ状に改善するよう、県へ要望していく。

中名生　隆　議員

tococoバス路線の変更を

「地域要望を踏まえた路線案を推進する」

議員　今回、tococoバスの乗降客調査は、東循環路線案を重点にしているが、南西循環の復路の変更、16時台の運行、逆回り、朝夕の増便等の要望があるが、どうか。

市民生活部長　地域要望を踏まえ、路線案をまとめていく。

高齢化対応の路線検討を

議員　高齢者が病院、買い物、市民活動等、自立した生活ができるtococoバス路線の体制にすべきである。

市民生活部長　本市の高齢化進展状況を考慮し、路線を検討していく。

▲大型車の通行が激しい氷川町１丁目の交差点

信号機の設置を

議員　①オリンピック通りの氷川町セブンイレブン前、②北大通り荒川水循環センター方向、大宮バイパスから1番目の交差点に信号機の設置を。③戸田中通り新曽南と南町境に手押し信号機の設置を。

市民生活部長　①警察見解があるが、市では対策が必要と認識している。②笹目小の通学路であり、対策が必要と認識している。③信号機設置間隔が短いとの警察見解はあるが、手押し式の信号機であれば、検討はできるとのことである。

市民の安全を守るために

議員　塾帰りの子ども達や女性の帰宅が深夜10時を越える状況がある。安全ステーションの対応は。

都市整備部長　子どもや女性の被害防止に委託警備員の巡回等で対応し、情報聴取していく。

※AED……心臓に電気ショックを与えて不整脈を除去する器具。

一般質問

花井　伸子 議員

中学卒業までの医療費を無料に

「来年度予算編成の段階で決断」

議員　この間、子ども医療費の中学卒業までの無料化について、早期実施を求め、繰り返し質問してきたところである。それまで、他の会派からの質問はなかったが、9月議会では複数の会派から同様の質問がされ、議会では多数の要求となった。来年度予算に向けて具体的な検討は進められているのか。

こども青少年部長　現在、担当において作業を進めている。

議員　いつまで検討して、市民に結果を知らせるのか。

市長　来年度予算編成の限度があるので、その段階で決断しなければならないと考えている。

議員　9月議会で、定額・定率の負担や所得制限の導入を検討すると答弁したが、県内の市ではどこもこうした負担・制限を行っているところはない。負担・制限を導入しないよう強く要望する。

戸田駅北側に信号機設置を急いで

議員　北大通りの線路高架西側に信号機を設置してほしいとの要望が出されている。4月からは、近くに保育園が開園することからも早急な設置を要望すべきである。

市民生活部長　対策が必要との認識から、平成21年度信号機設置要望として、11月25日付で蕨警察署長宛に要望書を提出した。

議員　新年度の早い時期に実現するよう、再度強く要請を願いたい。

▲ 危険な交差点の解消を（北大通り戸田駅高架西側）

高橋　秀樹 議員

学童保育室の設置は学校活動に配慮すべき

「将来的には学校以外の設置も検討」

議員　本市の学童保育室は、学校の校内に設置されているため、戸田南小学校のようにグラウンドが狭くなり、教育活動に支障を来している。学童保育の需要は多くなるので、学校敷地外の借り上げも含めた設置を検討すべきではないか。

こども青少年部長　入室希望者が増加傾向にあり、施設の改修や増設も計画的に行っている。将来的には、学校敷地内だけの設置は厳しい状況も予想され、敷地外の設置も検討したい。

プレハブ教室の解消は

議員　児童増により、戸田第一小学校、戸田南小学校にプレハブ教室が建設され、校庭やグラウンドが狭くなり、運動会等で支障を来している。学校内の敷地の有効的な利用や、過度な設計とならないよう、建設や改修には設計する前に専門家の意見を聴く必要がある。

▲ 5教室をプレハブで対応している戸田第一小

教育部長　老朽化している校舎も多く、大規模改修の時期に合わせ、プレハブ教室の解消も検討する。建設等では専門家の意見を聴くことは必要なので、今後の研究課題である。

メール配信の登録や情報管理の一元化を

議員　本市では、携帯電話に防災情報と防犯情報をメール配信しているが、利便性の上からも登録の一元化が必要ではないか。また、防災、防犯、火災等の情報の一元化をし、登録者が情報を選択できるようにしてはどうか。

総務部長　防災情報は気象警報や大地震等を配信し、防犯情報は不審者等の情報の配信である。今後、市民の利便性を考慮し一元化や、火災情報も含めた情報サービスを検討したい。

とどけきたい

岡嵜　郁子 議員

「ハッピースマイル」閉園――安定した保育へ市の責任は

「反省している。選定基準を考えたい」

議員　10月31日付で、本市が委託契約を結んでいた家庭保育室及び病児・病後児保育室が、運営する㈱エムケイグループの経営困難により、突然の廃園という事態を迎えた。①選定権者である市の責任は重大。市民や保護者への説明と謝罪を。②同社は、本市の保育事業を担保に借金をしていたと報道されている。契約違反行為であり、補助金返還と損害賠償請求をすべきでは。③今後の保育事業の事業者選定は、安定的な保育を行えるものに基準を見直すべきではないか。

こども青少年部長　①今回の事態はまことに遺憾であり、あってはならないことと責任を痛感している。②委託料や運営権を担保にすることはあってはならない。損害賠償は、今後の様子を見て検討する。③今後は、より厳格な選定となるよう努力する。

▲ 10月末に突如閉鎖された戸田公園駅前ハッピースマイル

議員　本市は契約時、企業の財務状況資料さえ提出させていない。こうした対応が今回の事態を招いた。市民への説明と違反行為への断固とした態度を求める。事業者選定の基準を決める際には、会計士等の専門家を加え、市民や議会へも公表すべきでは。

市長　この件については大変反省している。これをきっかけに選定基準をしっかり考えて、議会にもオープンにしていきたい。

新大宮バイパスの騒音対策で防音壁の設置は

議員　住宅が多い地域の防音壁設置見通しは。

市民生活部長　早瀬2丁目、笹目6丁目地内に総延長210メートルの遮音壁が21年度に着工予定。

手塚　静枝 議員

小中学生の通院費を低負担の定額制に

「現在検討を進めている」

議員　9月議会で子ども医療費無料年齢拡大を要望したが、再度、早期実現を求める。まずは、小中学生の医療費を一律一回200円程度の定額制にし、子育て家庭の経済的支援をしてはどうか。

こども青少年部長　子ども医療費については、現在検討中。年齢を拡大した場合、一定の負担を課すことも考えられることから、検討を進めている。

▲ もうすぐ1年生（芦原小の就学児健診）

乳がん検診の人数枠拡大を

議員　本年度の申込人数が定員を上回り、抽選に漏れた方がいた。検診の人数枠拡大はできないか。また、今後の受診体制の充実について考えを伺う。

医療保健センター事務長　来年度は希望された市民の方全員が受診できるよう、蕨戸田市医師会と協議していく。検診の曜日や時間帯など受診体制も医師会と協議していく。

シルバー・サポート制度の推進を

議員　高齢者の運転免許自主返納に対し、埼玉県警は「シルバー・サポート制度」の運用を開始した。市は、この制度の周知や推進をどのようにしているのか。独自のサポートをする考えはあるか。

市民生活部長　市として交通安全啓発のイベントや交通安全教室等、機会をとらえ警察と連携し周知を図っていく。

北戸田駅西口の縁石改修を

議員　福仙堂書店前横断歩道脇の赤白ポールを取り外し、往来しやすく改修はできないか。

市民生活部長　現況の道路形態では、交通安全上撤去は難しいと考える。

一般質問

望月　久晴　議員

法人市民税補正は当初か6月議会で計上を

「新規設立法人で税収見込めなかった」

議員　今議会に法人市民税13億円の補正予算が出されたが、当初予算で組めなかったのか。

財務部長　5月に申告があったので、業績から税収を見込むことが難しい。

議員　①5月申告であれば、6月か9月議会で補正を出せなかったのか。②19年度の繰越金が、まだ7億4500万円残っているが、その使途は。

財務部長　①9月は他の財源があり、12月議会に提案した。②歳出予算の不足や緊急発生の事業の財源に充当したい。

議員　19年度も使われずに3月補正で基金に積み立てられたが、ますます深刻になる雇用、中小業者の経営など不況対策として活用する考えは。

市長　今後の予算編成の中で検討したい。

来年度予算で少人数学級、特養建設を

議員　①来年度の予算編成の基本方針は。②税収見込み額は。

財務部長　①財源の効率的執行を図るため、既存事業の効果や必要性を分析し、整理統合に努める。②法人市民税が不況の影響で一般の法人は減るが、金融保険業が増えたので、当初では20年度とほぼ変わらないと考える。

▲多くの待機者を抱える特養ホーム「戸田ほほえみの郷」

議員　①全国的に少人数学級に力を入れているところで学力が伸びている。本市も段階的に少人数学級を。②特養の待機者が800人を超え、病院から退院を求められても行き場のない高齢者が激増している。高齢者が安心できるよう特養の増設を。

教育部長　①当面は少人数学級より少人数指導の充実に力を入れたい。

福祉部長　②介護保険料との関係もあり、現段階ではサービス需要の見込みができていない。

召田　厚　議員

がん検診後、不安のないよう速やかな対応を

「医療機関などへ働きかける」

議員　本市はピンクリボンウォーク運動、広報などにより、乳がんの早期発見、早期治療の啓発活動を積極的に行っているが、再検査が受診できるまで約1カ月かかる。

「がん」かもしれないと思いながら1カ月を過ごすことはとても不安であるが、本市として、速やかに再検査や自主検査が受けられるよう医療機関等に働きかけられないか。また、休日夜間診療について、重篤な患者がすぐに治療できるよう、軽度な患者に対し、市が医療相談など対応する電話相談の整備を整えてはどうか。

医療保健センター事務長　今後、精密検査のできる近隣の医療機関の周知や、不安がなく過ごせるよう市内の医療機関にお願いしていく。また、医療相談や医療機関などの情報が提供できる電話相談の整備については検討していく。

老朽化した公共施設の建て替え計画は

議員　市の公共施設で老朽化している、こどもの国、上戸田ふれあい広場に計画している上戸田福祉センター複合施設整備の今後の計画は。

こども青少年部長　こどもの国は、今年度から所管が教育委員会からこども青少年部に移り、引き続き検討していく。

福祉部長　上戸田ふれあい広場の計画は、スケジュールは未定だが、地元の協力を得ながら検討していきたい。

◀地域に根ざした保健医療の拠点「医療保健センター」

議員　どちらも様々な部課がかかわる複合施設で計画されており、庁内に横の調整のできるプロジェクトチームとしての担当課を作ってはどうか。

市長　両施設の建設については今後検討していく。

委員長報告から

定例会中の委員長報告から、議会運営委員会視察報告と議会改革特別委員長報告をピックアップして、掲載しました。

議会運営委員会

先進的な代表質問

【視察先】福井県越前市　福井県福井市

越前市議会では、議会の提言を当初予算編成に反映させるため、それまで3月定例会で実施していた代表質問を、平成18年より12月定例会に実施時期を見直しました。

また、議会運営委員をもって構成する議会活性化検討委員会を設置し、その結果として、議会報告会としての「市民と議会の交流座談会」を行いました。これは、全議員が参加し、予算など市政の重要課題について議会での審議内容を市民に報告し、その後、参加した市民から質問や意見を受け、議員が答えるというものです。もう一つ、議会基本条例を制定するに当たり、意見を聞くため、「各種団体と議会との語る会」も開催しています。

予算特委と常任委が連携審査

福井市議会では、予算は予算特別委員会に付託をしますが、付託後、予算特別委員長から各常任委員会へ調査依頼をし、実質的な審査は常任委員会で行います。予算特別委員会では、常任委員会での調査結果を踏まえて、市政全般の諸問題について総括質疑を行っています。

▲福井市議会の議場にて

意見・感想

戸田市議会では、3月に行われる市長の施政方針に対して総括質問（代表質問）を行っていますが、越前市議会では、議会の提言を当初予算編成に反映させるために12月議会で代表質問を行っており、先進的であると感じました。

議会改革特別委員会

今後も積極的に議会改革を推進！

～開かれた議会へ４年間のあゆみ～

任期最終の議会に当たり、最終日に議会改革特別委員長報告が行われました。

この4年間の実績を振り返るとともに、今後の議会改革の展望が触れられました。

議会改革で取り上げたテーマのうち、この4年間で実施または要望した事項は下の図のとおりです。

常任委員会の毎月開催を

「委員会体制のあり方」の中で、新たに提言があった内容は、次の2点です。

①閉会中に積極的に委員会を開催することで議会の監視機能や主体性を高めることを目的に、改選後には原則毎月1回の常任委員会を開催する。

②視察後の十分な検証を目的に、委員会の見解や参考となる施策の提言を検証・精査する。

事務局体制の強化を要望

「議会事務局の体制」については、

①議員への情報提供と情報の共有化

②政策法務に強い職員の配置

③事務局職員人事に対する議長の任免権への配慮などを要望しました。

〝議会基本条例〟も視野に

地方分権の推進に伴い、地方自治体の責務が増大する中で、二元代表制の一翼を担う議会としての責務を果たし、市民の負託にこたえていかなければならない現状を踏まえて、改選後の議会改革の指針として次の諸点が示されました。

・市民に期待される議会に向けて、議会が市民の中に飛び込んで議会情報を発信していく。

・議会改革の取り組みを永続させる仕組みとして、〝議会基本条例〟の制定も視野に入れて、今後も積極的な議会改革を推進していく。

以上が議会改革特別委員長報告として示された概要です。各事項の詳細は、議会ホームページの〝議会改革のあゆみ〟を併せてご覧ください。

市民に開かれた議会
- ○一問一答方式の見直し
- ○インターネット中継の実施
- ○政務調査費の領収書の原本添付

委員会体制のあり方
- ○常任・特別委員会の全面公開（議会改革特委を除く）
- ○特別委員会の再編

議員の服務
- ○議員信条の制定
- ○議員報酬等の特例条例の制定
- ○市附属機関から議員の引き揚げ
- ○議員定数の削減

議会改革への取り組みなどに本市への視察が増えています

議会日誌

10月

◎１日　県南都市問題協議会地方分権研究部会視察
◎２日　戸田競艇組合議会／文教・建設常任委員会
◎７日～８日　議会運営委員会視察
◎10日　議会だより編集委員会
◎14日　蕨戸田衛生センター組合議会行政視察／島根県大田市議会行政視察来庁
◎20日　議会だより編集委員会
◎21日　埼玉県三芳町議会行政視察来庁／議会改革特別委員会
◎23日　静岡県市議会事務局職員視察研修来庁
◎24日　戸田競艇組合議会行政視察
◎27日　県南都市問題協議会都市計画研究部会視察
◎28日　山形市議会行政視察来庁／広島県東広島市議会行政視察来庁

11月

◎５日　鹿児島県南さつま市議会行政視察来庁／蕨戸田衛生センター組合議会
◎12日　北海道伊達市議会行政視察来庁
◎13日～14日　一区議長会先進地視察
◎14日　北海道釧路町議会行政視察来庁
◎17日　愛媛県八幡浜市議会行政視察来庁／議会改革特別委員会
◎18日　議会運営委員会
◎19日　鳥取県境港市議会行政視察来庁
◎25日　本会議開会、（議案説明）
◎26日　戸田競艇組合議会

12月

◎１日　本会議（議案質疑、請願の提出、委員会付託）／議会運営委員会／議会だより編集委員会
◎２日～４日　本会議（一般質問）／議会運営委員会（４日）
◎５日　常任委員会（総務、文教・建設、健康福祉、市民生活）
◎７日　特別委員会（指定管理者制度、交通環境対策、議会改革）／議会運営委員会
◎12日　議会運営委員会／本会議（委員長報告・質疑、討論・採決、閉会）
◎19日　県南都市問題協議会環境問題研究部会視察
◎22日　県南都市問題協議会交通研究部会視察

議員の寄附禁止のルール

贈らない　議員がイベント等で寄附をすること。

求めない　有権者や町会等各種団体が議員に寄附を要求すること。

受取らない　議員が寄附を持ってきても有権者や町会等各種団体は受け取らないこと。

2月 議会の予定

☆市議会議員一般選挙後の初議会が開かれます。

2月6日　本会議　臨時会開会、正副議長の選挙、議会運営委員の選任、常任委員の選任
9日　本会議　各種選挙、閉会

改選後の新しい議員の顔ぶれや議会構成は、議会だより臨時会号（3月1日発行予定）に掲載いたします。

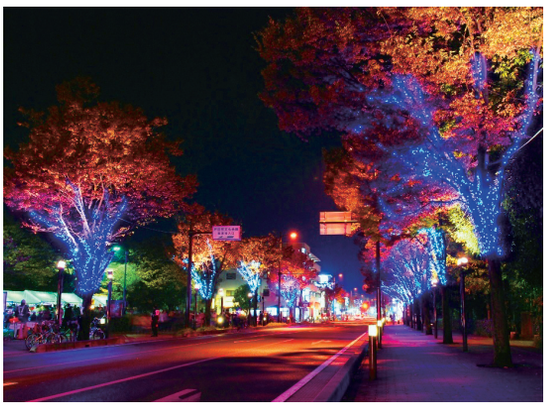
3月 議会の予定

☆新年度予算が審議されます。

2月23日　本会議　定例会開会、議案上程、施政方針、総括説明、詳細説明
2月24日　本会議（続）詳細説明
3月4日　本会議　総括質問
5日　本会議　質疑、請願の提出、委員会付託
6日　本会議　一般質問
9日　本会議　一般質問
10日　本会議　一般質問
11～13日　委員会　常任委員会
16日　委員会　特別委員会
23日　本会議　委員長報告並びに質疑、討論・採決、閉会

※日程は変更になる場合があります。臨時会・定例会の一週間前に議会運営委員会で内定しますので、議会事務局にお問い合わせくださるか、議会ホームページをご覧ください。

議会事務局☎441・1800（内線523・524・543）



▲市役所南通りの上戸田イルミリンク……2月14日まで点灯しています

ほっとコーナー

このコーナーは、編集委員が交代で書いています。

元日、初参りに自転車で街に出る。ん？何か違和感が…コンビニにファミレス、どの店も開店している。
子どもの頃お正月といえば、食料確保に危機感のようなものさえあった。
〝便利〟の一言で、古きよき風習がなくなっていく。そういう自分も帰りにコンビニに寄っている。なんだかな…。（あ）

貧困と格差が一段と広がってきた。「税金を払うと生活できない。」どこへ行っても聞かれる悲鳴。
これまで必死で生きてきたお年寄りがいじめられる政治は許せない。
今年は〝うし〟年――角でも出して反撃しようか。（花）

昨年、世界初となる2度のトリプルアクセルを見事に決め、世界女王に輝いた浅田真央さん。
このグランプリファイナルを制した勝因は、攻めに徹した心の強さにある。
大事なのは、〝あくまで自分に勝つこと〟と真央さんの言。〝うん、そうか〟と納得。（静）

前にも触れましたが、今まさにこの欄に目を向けて（耳を傾けて）くださっている一人ひとりの〝あなた〟。ありがとうございます。
表紙からこの欄まで読んでいただける紙面づくりを目指しています。（U）

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）

本紙は環境に配慮し、再生紙と大豆油インキを使用しています。